

そこで、兄弟たち。堅く立って、私たちのことば、手紙によって、教えられた言い伝えを守りなさい。 Ⅱテモテ2:15

## 2015(27)年 週 報

「聖霊の印」

2月8日  
第2聖日  
第3390号

聖  
言

またあなたがたも、キリストのあって真理のことば、すなわちあなたがたの救いの福音を聞き、またそれを信じたことによって、約束の聖霊をもって証印を押されました。 エペソ1:13

礼拝の恵み 第九章 第七部 礼拝の仕方  
三節 礼拝は知的であるべきである。  
(b) 神への祭司としての自分の立場について、はっきりさせておくべきである(「ペテロ二ノ九、黙一ノ五、六」) 祭司として信者は神を賛美し礼拝する。「霊のいけにえ」をささげる特権を持つ(ヘブル一三ノ一五)。現在行われている聖職者と平信徒との区別は神の言葉に根拠をもっているものでなく純然たる人間の工夫であつ、言語を絶する害毒をかもしだしてゐる。信者は自分が主から任命されていることを悟り、この確信をもって礼拝者として至聖所にはいるばかりでなく、僕として主のために証言すべく出かける(ヘブル一〇ノ一九、二二、ヨハネ一五ノ一六)。  
(c) 礼拝がほんとうに何であるか、はっきりと自覚しているべきである。また礼拝が自分の生活のなかで占める位置と重要性を悟るべきである。なぜなら、礼拝は彼の最高の任務だからである。このことについては、すでに述べた。  
(三) 集会の目的について知的な理解をえようと努めるべきである。多くの信者は明らかに、このような集まりの目的を悟ることができない。この集まりは福音の説教のためでもなく、恵みの座でなく、聖書研究でもなく、伝道心を芽生えさせるものでもない。キリストを記念し礼拝するための集会は、この目的だけのために存在する。この明らかに事実にもかかわらず、パンを裂く前の発言や奉仕が明らかにその人が集会の主目的を決してほんとうにつかんでいないことを示している場合がよくある。混乱は無知な霧囲気から生じる。(ギブス「礼拝」より)

イエス・キリスト聖成伝道教会・東洋聖書神学院・聖成基督教団

牧師 山本 稔 〒653-0812 兵庫県神戸市長田区長田町1丁目2番6号

電話：FAX (078) 691-1419 郵便口座番号 01170-3-20374

<http://jchec.org/>

minoru\_yamamoto@hotmail.co.jp メール m7-inoru@ezweb.ne.jp

二〇一五年一月二五日午前一〇時 礼拝 山本牧師

「キリストにあつて一つ」

「時がついに満ちて、この時のためのみこころが実行に移され、天にあるものも地にあるものも、いっさいのものが、キリストにあつて一つに集められることなのです。」

(エペソ一ノ一〇)

十字軍はいまから千年以上前にカトリック教会が当時イスラムに支配されていたエルサレムを奪還しようとして軍隊を送つたのです。そのとき、イスラムの民衆にも被害を与えたのです。これは、教会が政治的な動機からしたこと、聖書にはそんな教えはありません。一〇節にキリストにあつて一つにあつめられるとあります。自由で統一した社会はどうしてできるか。その秘訣は聖書にあります。エペソの教会は繁栄と自由でしたが、ばらばらでした。それぞれ、才能が豊かであるが、争いがあつた。今一つになれないで世界は苦しんでいます。それは神様と人間の間でも同じです。神をもとめているが神のようにきよくなれない。一つになる秘訣その第一はかみさまはあなたを世界の基の創造の前に選ばれたのです。それはしみも傷もないものとして御自分の子とするために選んでくださいました。きよい神様の前に人間は罪だらけです。それで、神様は神の御子イエス様を買いとめて提供してくださいました。これは昔の奴隷用語で奴隷を買い戻すには購入金を払うのです。罪を犯す人間は自由人でも罪の奴隷です。どれいはいの支配者悪魔に支配されています。自由も命もなく、一時的な喜びと死が報酬なのです。それで神は御子をおみわりとして購入代金として十字架に罪なきお方をつけて、罪の身がわしとしてあたえてくださいました。このお

方の犠牲を信じるものを罪から救い神様の子として迎え入れてくださいます。そしてキリストにあつてユダヤ人々もイスラム人も日本人一つにしてくださいました。一つというのは一致とともに、キリストにある一つとはキリストのように一人ひとりが代わつて行くのです。なぜ、イスラムと西欧が憎しみあうのか。西欧の若者がイスラム国に志願するのか。その一つはくりすちゃんんの親がキリストのごとく生きていないということです。イエス様のようにこの世の成功をもとめず十字架の生涯をいくることこそ、世界が平和になる道です。

二〇一五年二月四日 午後七時祈祷会

「錆びた肉鍋」(エゼキエル連講二八回)

「あなたは、反逆の家に一つのたとえ語つていえ。神である主はこう仰せられる。なべを火にかけ、これを据え、水をこれに注ぎ入れよ。これに肉の切れ、ももと肩の良い肉の切れをみないつしよに入れ、えりぬきの骨でこれを満たせ。」エゼキエル二四ノ三、四

第九年の第十の月の十日に主のことばがあつた。千キロも離れていたバビロンに捕らわれていたエゼキエルにバビロン王がエルサレムに攻めてきた知らせがあつた。歴史的な事実である。ありえないことである。

神様が語られたとしか言いようがない。なべはエルサレムで、肉は住民である。鍋が錆びついたので空焚きにして錆をとつてもたれなかつた。これは偶像崇拜の罪を犯すエルサレムの試練を与えても悔い改めなかつた。それで最終に神の都エルサレムを滅ぼす。これを通して神様の裁きを軽率に考えてはならない。

## キム・デファンファミリーコンサート

キム・デファン兄はオングジャンイ（陶器師）賛美宣教団の一員で多聞福音教会の吉川牧師の要請で毎年来日されています。永遠の酸鼻とDEの学生短期宣教チームは毎年伝道のために来ていただいています。今回初めてコンサートをひらいてくださいます。

オングジャンイ（陶器師）の意味

「彼らは陶器師で、ネタイムとゲデラの住民であり、王の仕事をすため、王とともにそこに住んだ。」

（暦代誌一四ノ二三）が名前の由来です。賛美を通して神様にお仕えされるのです。

コンサート日時

二月一日（水）午後二時

内容 コンサート

賛美とダンス キム・デファン家族

メッセージ

足達 和章先生